



ホテルで学ぶという新発想！未来を変えるのは、今日の体験
“体験格差”に立ち向かう新たな学びの場、ホテルが“第3の居場所”に変わる！
「学童ホテル」が誕生、説明会＆プレ体験会 8月25・26日開催

子どもたちの「体験格差」という社会課題の解決を目指し、お子様に“本物”にふれる新たな学びの場「学童ホテル」の運営に向けて、2025年7月24日に非営利型一般社団法人ホロニック（神戸市東灘区・代表理事長 田 一郎）を設立いたしました。2025年8月25・26日には、保護者様向けに「説明会＆プレ体験会」を開催予定です。「学童ホテル」では、地域の子どもたちに本物の体験を無償で提供していきます。

■学童ホテルの概要

運営主体：一般社団法人ホロニック

協力：株式会社ホロニック／地域企業・団体／ボランティア

対象：神戸市在住の小学生（3年生～6年生） 10名～12名

開催日：毎週火曜日

開催場所：ホテル セトレ神戸・舞子内「別邸レジデンス」

■説明会＆プレ体験会 概要

学童ホテル 第1期生募集体験・説明会～9月より始動予定！～

日時：8月25日（月）・26日（火）

対象：対象者：神戸市在住のお子様 小学3年生・4年生・5年生・6年生
 ＊募集数が多い場合は、厳選なる抽選の結果、選出させていただきます。

参加料金：無料

プログラム：8/25(月)1部：13時～15時 須磨海苔ができるまでと海苔炙り体験

講師：すまうら水産 実熊 良太氏

8/26(火)1部：11時～13時 声を出さないコミュニケーション体験

講師：尾中 幸恵氏、尾中 友哉氏

8/26(火)2部：14時～16時 生音でダンス 講師：MIWA & CANA

＊1部：2時間程度 ＊各12名程度を予定

開催場所：兵庫県神戸市垂水区海岸通11-1 ホテル セトレ神戸・舞子内「別邸レジデンス」

お問い合わせ：info@gakudohotel.or.jp



【子どもプログラム内容】

所要時間約120分

- ①はじめの挨拶
- ②体験プログラム：ホテルのプロが教えるテーブルマナー体験
- ③パティシエがお届けするおやつタイム
- ④特別体験プログラム：※参加日時によって異なります
- ⑤終わりの挨拶

【保護者様】

お子様の体験様子を会場内でご覧いただけますが、プログラムの途中で学童ホテルについてのご説明や館内を案内をさせていただきます。

2025年8月20日より以下のURLでご覧いただけます

学童ホテル 公式ウェブサイト



<https://www.gakudohotel.or.jp/>

学童ホテル説明会＆プレ体験予約受付は、こちらから→



Press Release

2025.8 | 2/9

体験のすべてが“未来”につながっているから

心を動かす「出会い」と「豊かな学び」の機会を届けたい
地域を、すべての子どもたちの“学び舎”に
ホテルだからできる、特別な放課後があります



背景と目的

ホテル「セトレ」を運営する株式会社ホロニックは、これまでホテルを地域の魅力発信の拠点とし、地域に根差した体験型観光・交流を推進してまいりました。この経済活動をさらに発展させ、次世代の地域を担う子どもたちへの貢献を目的とした「学童ホテル」構想をスタートするため、非営利型一般社団法人ホロニックを設立致しました。

子どもたちの毎日は「はじめて」にあふれています。けれど、その体験の機会は家庭環境によって差があるのが現実です。体験の格差をなくすことを目指し、ホテル セトレ神戸・舞子を「学童ホテル」としてオープンしました。ここでは、ホテルという特別な環境で、本物に触れ合い、真剣な大人たちと交流することで、子どもたちが自分の「好き」や「得意」を発見できる場を提供しています。また、子どもが満たされた顔で帰ってくる姿は、親にとっても安心と喜びに。学童ホテルは、**学び・体験・つながり**を提供するサードプレイス“第3の居場所”として、親にも地域にも笑顔の循環を広げていきます。



私たちの想い

子どもたちの毎日は、たくさんの「はじめて」にあふれています。

けれどその「はじめて」に、出会える子と、そうでない子がいるのもまた現実。生まれ育った環境によって、放課後の風景は大きく変わります。

私たちは、そんな“体験格差”を少しでもなくしたいと考えています。

学びも、遊びも、人との出会いも、体験のすべてが“未来”につながっているから。

どんな子どもにも、心を動かす「出会い」と「豊かな学び」の機会を届けたい。その思いから、私たちはホテル セトレ神戸・舞子を「学童ホテル」として開くことにしました。

ここでの放課後は、ただの預かり時間ではありません。

ホテルという“異日常”の空間で、子どもたちは本物にふれ、本気の大人と関わりながら、自分の「好き」や「得意」を見つけていきます。

地域の人・文化・自然と出会える、豊かな「学びの種」が、日々の体験のなかにちりばめられています。そして、この時間は、親にとってもかけがえのないひとときです。

子どもが満たされた表情で帰ってくる姿に、

親は安心し、心がふっと軽くなり、喜びに変わります。

さらに、その時間が「親自身がほっと一息つける時間」になることで、忙しい日常の中に少しだけ余白が生まれる。それは、親子の関係にも、日々の暮らしにも、あたたかな変化をもたらしてくれるのです。

学童ホテルは、子どもたちにとっての“第3の居場所”。

家庭でも学校でもない、新たな「安心できる学びの場」として、地域と共に子どもたちの成長を支えていきます。子どもが輝けば、親もホッとする。親が安心すれば、地域にも笑顔が広がる。

そんな「笑顔の循環」を、ここから育てていきます。



Press Release

2025.8 | 3/9



学童ホテルが向き合う社会課題

「体験格差をなくす」「親の心と時間にゆとりを」

向き合う社会課題

●すべての子どもに、豊かな体験を。“体験格差”をなくしたい。

家庭の経済状況や環境によって、子どもが得られる体験の量や質には大きな差があります。

こうした“体験格差”は、学びの機会や将来の選択肢にまで影響を及ぼします。

学童ホテルでは、ホテルという非日常空間を活かし、

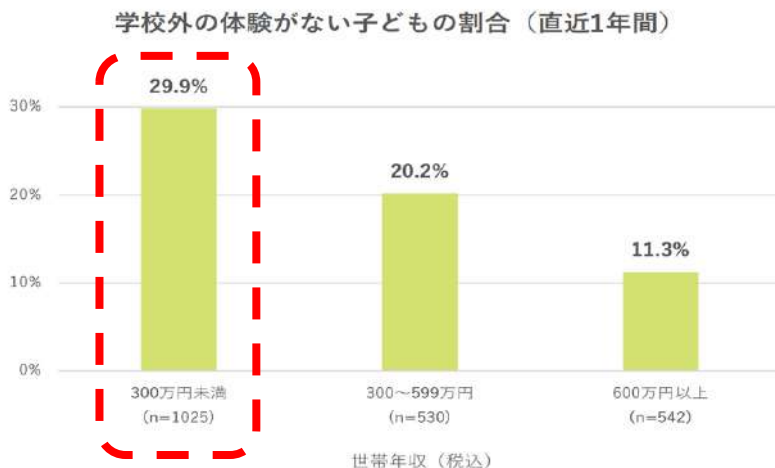
地域の人・文化・自然とふれあう本物の体験を提供。

すべての子どもに、心動かす学びと出会いの機会を届けます。



子供たちの得る“体験”は、平等ではない

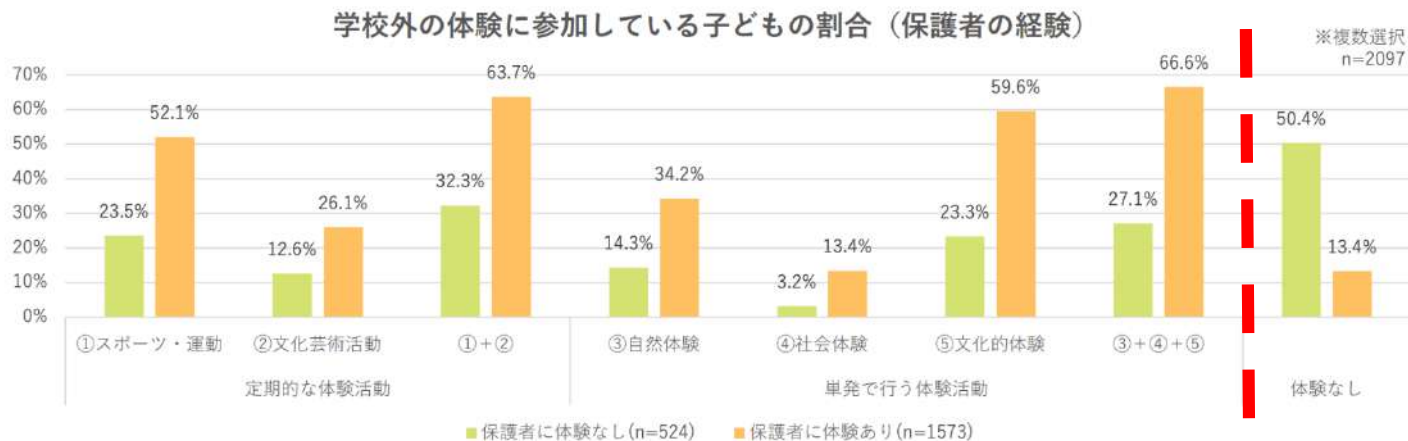
低所得世帯の3人に1人の子供たち学校外の体験をおこなったことがない



出典：Chance for Children https://cfc.or.jp/wpcontent/uploads/2023/07/cfc_taiken_report2307.pdf

保護者の体験がない場合、子供の2人に1人が体験なし

保護者の体験がある場合、子供の参加率は2倍に



出典：Chance for Children https://cfc.or.jp/wp-content/uploads/2023/07/cfc_taiken_report2307.pdf

体験格差を引き起こす要因/経済格差・地域格差・保護者の経験、教育スタイル

体験格差は、子供の社会性の発達や階級、職業に影響を与える

子供の問題ではない環境によって、体験が少ないと、子供たちの可能性が狭まり子供たちの可能性を十分に発揮出来ない

Press Release

2025.8 | 4/9

●親の心と時間に、ゆとりを。

共働き家庭や多子世帯が増える現代、

子どもの放課後の過ごし方は、親にとって大きな課題となっています。

「仕事が終わるまで安心して預けられる場所がない」

「子どもにもっと体験をさせてあげたいけれど、時間も余裕もない」

——そんな声を多く耳にします。

学童ホテルは、ただ子どもを預かる場所ではなく、

安心して託せる“学びと成長の場”として、親の心にゆとりをもたらします。

また、子どもが充実した時間を過ごすことで、

親自身にも「自分のための時間」や「一息つける余白」が生まれ、

家庭での親子の関係も、よりあたたかく、前向きなものになっていきます。



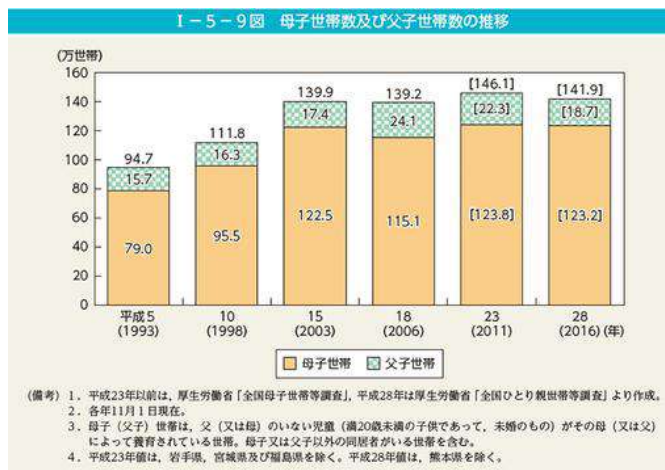
共働き世帯の増加



出典：独立行政法人 労働政策研究・研修機関

<https://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/timeseries/html/g0212.html>

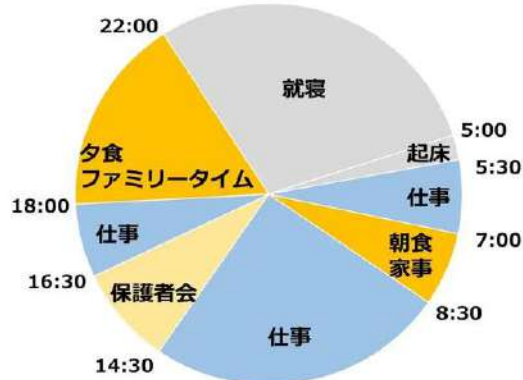
母子・父子世帯の増加



出典：男女共同参画局

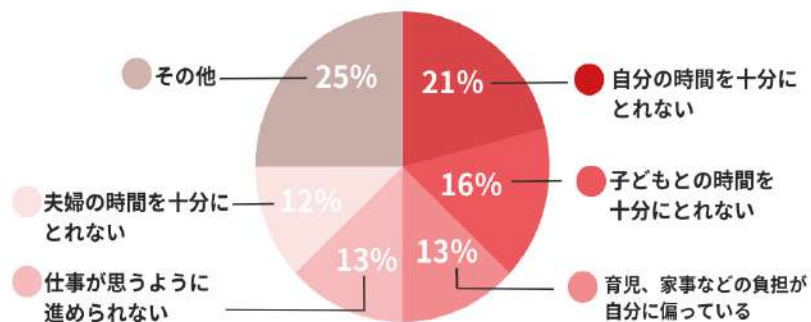
https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r01/zentai/html/zuhyo/zuhyo01-05-09.html

平均的なワーママ、ワーパパの平日1日スケジュール



出典：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000237.000015099.html>

Q.子育てでいちばん大変だったことは？



出典：くまもと生活応援紙 <https://spice.kumanichi.com/other/137693/>

●自分の時間を十分取れない ●子供との時間を十分取れない



Press Release

2025.8 | 5/9

ホテル セトレだから出来ること

01 ホテルだからこそその体験



「非日常」と「本物」にふれられること。たとえば、一流の料理人と一緒に料理を作ったり、ホテルスタッフの仕事体験したり。普段は味わえない特別な空間やサービスの中で、子どもたちは五感を使って学び、自分の「好き」や「得意」を発見していきます。

02 地域コミュニティとのつながり



地域の農家さんや職人さん、漁師さんなど、地元の大人たちとふれあう体験を通じて、子どもたちが地域とつながる機会をつくっています。地域の魅力や知恵にふれ、「自分が育ったまち」をもっと好きになるきっかけになります。

03 くつろぎ空間



ホテルならではの開放感ある空間で、子どもたちが安心して過ごせる「くつろぎの場」を提供しています。ゆったりとしたロビーや自然を感じるテラスなど、家庭や学校とは違う心地よい環境で、心も体ものびのびと過ごせます。

02 シェフが作る食事を提供



ホテルならではのプロの料理人が手がける、安心で美味しい食事を提供します。旬の食材を使い、栄養バランスにも配慮したメニューは、特別感がありながらも子どもたちに親しみやすい味わいです。食を通じて新しい発見や感動も生まれます。

学童ホテルが育てる子供たちの未来

01



本物にふれるリアルな体験が未来を広げる

「学童ホテルでは、シェフやコンシェルジュ、農家さん、職人さんなど、本気で仕事に向き合う“本物の大人”とふれあう体験が待っています。子どもたちは「これ、面白い!」「やってみたい!」という気持ちに出会います。その一歩が、将来の夢や“好き”を見つけるきっかけになります。

02



多様な人との出会いが、自分の世界を広げる

学年も学校も違う友だち、地域で生きるさまざまな大人たち。学童ホテルには、普段の生活では出会えない人たちとの交流がたくさんあります。「ちがうって面白い」「自分もこうしていいんだ」そんな気づきが、子どもたちの心を少しずつ柔らかくし、視野を広げていきます。

03



“やってみたい”を応援する場所が、自信につながる

「やってみたい!」という子どもたちの気持ちを大切に、小さな興味にも耳を傾け、一緒に考え、形にしていくのが学童ホテルのスタイル。自分で考えて動く経験を重ねる中で、子どもたちは自然と“自信”と“自分らしさ”を身につけていきます。ここは、ただの放課後じゃない。未来の自分につながる時間です。

04



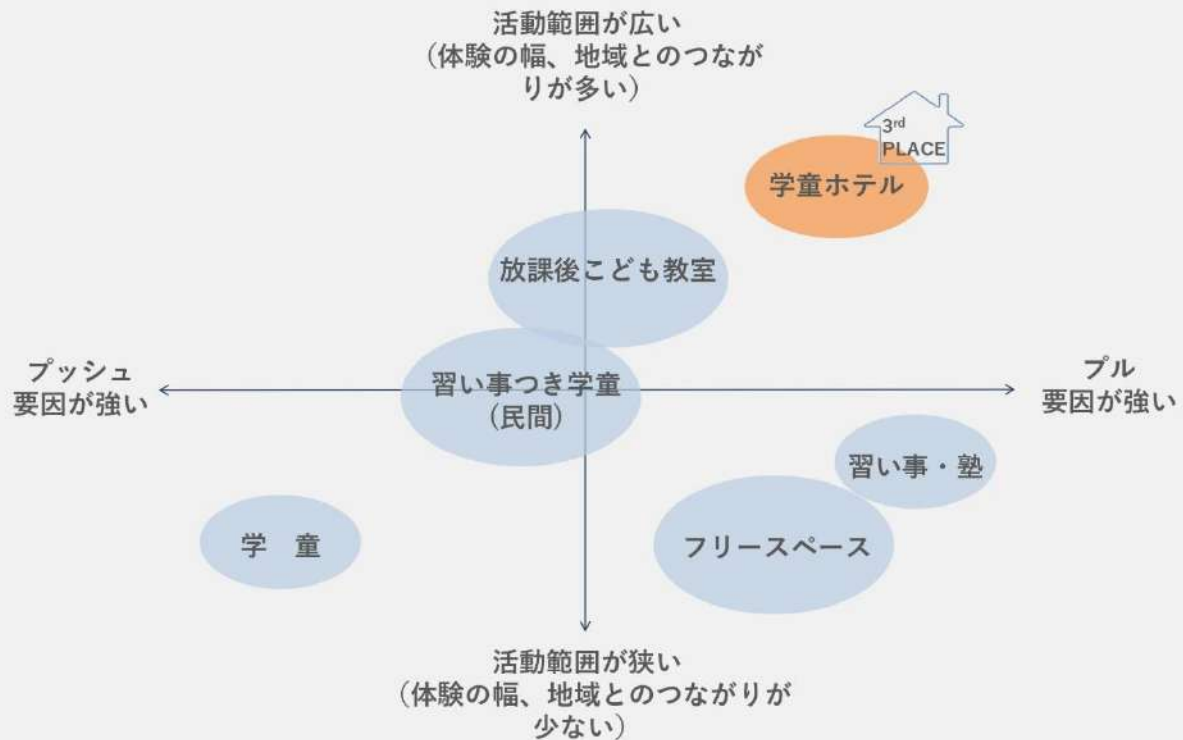
子供の成長と、親の心のゆとりを。親子の優しい時間に

子どもが安心して過ごせる場所があることで、親の気持ちと時間にゆとりが生まれます。そのゆとりが、親子の関係をあたたくし、笑顔の時間を増やしてくれます。また、学童ホテルを通じて、同じ子育て世代の保護者同士がつながるきっかけにも。そしてなにより、「今日、どんな体験をするのかな?」子どもを送り出す毎日が、楽しみに変わります。

Press Release

2025.4 | 6/9

ポジショニング



学童ホテル概要

■対象：神戸市在住の小学3年～6年生

■開催場所：ホテル セトレ神戸・舞子

■開催日：毎週火曜日

別邸レジデンス



	2st floor			
活動の場				
	2階ではおやつや食事、学びの場として体験をする場所として過ごしていただきます			
くつろぎの場	1st floor		3rd floor	
			 	
	1階では読書やコアワーキングスペースとしてソファ席やテラス席でゆったりと自分時間を過ごせます		3階では、リビングや和室、休憩室があり、おうちにいるように宿題や読書、カードゲームなどをしたりリラックスした時間を過ごすことができます	

Press Release

2025.4 | 7/9

1日の流れ

15:00 登園・宿題・おやつ	16:00 体験・学び	17:30 終了・片付け	18:00 帰宅・夕食準備&開始	20:00 片付け・帰宅(お迎え)
  登園したら、宿題をしたり遊んだりして自由時間。そのあとは、シェフが作ったおやつタイムです。	  みんなが揃ったら、その日の学び・体験の説明をスタッフから聞いて、スタートです。	  ここで一旦体験プログラムは終了です。夕食をとらない子供はここで帰宅します。夕食を取る子供たちは、夕飯の配膳のお手伝いをして夕食スタートです。親御さまや兄弟も参加可能です。	  順次、片付けをしてから帰る準備をして、お迎えがきたら、順次帰宅します。	

体験プログラム一例

■ 職業体験～ハウスキーパー編～



ホテル セトレ神戸・舞子の職業体験！ベッドメイキング体験を…

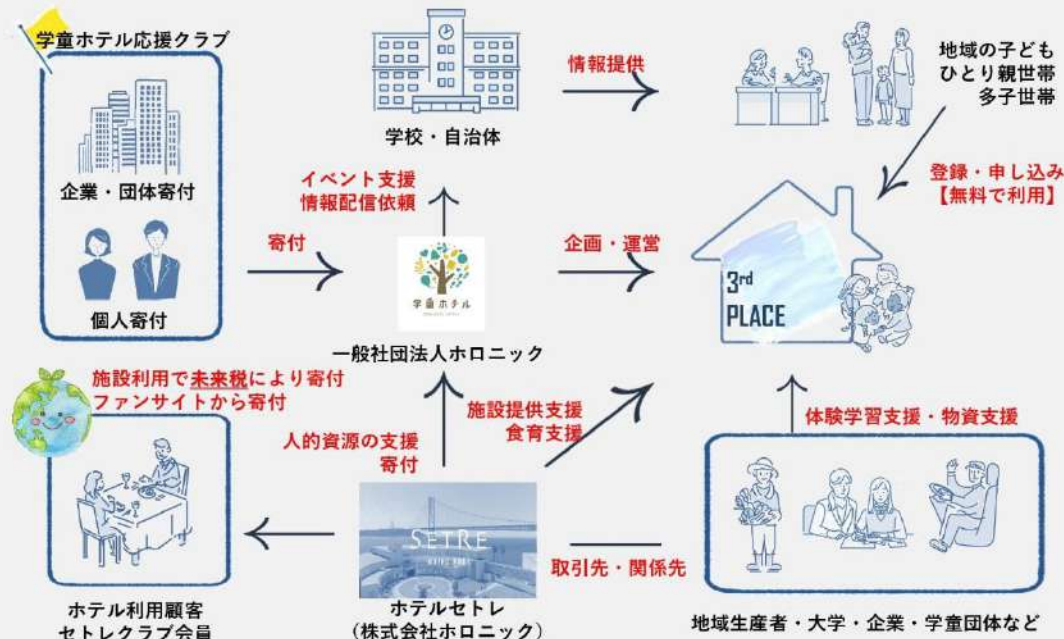
ハウスキーパーの職業体験。ホテルを快適に過ごしていただくための第一歩！ポイントを伝えながら、ベッドメイクをお実際子供たちと一緒にやってみました。枕のカバーをつけるだけでも四苦八苦の様子。綺麗に完成した際は達成感にあふれていました。

Press Release

2025.8 | 8/9

ご支援に

本取り組みは、営利事業とは異なり、子どもたちへの学びと体験の機会を持続的に提供するためには、多くの方々のご支援が欠かせません。
「学童ホテル」は、地域の未来を育む社会的意義のある活動として、パートナー企業の皆さまのご協力によって成り立つ取り組みです。
子どもたちの成長と地域の笑顔とともに育てていく仲間として、ぜひ私たちの想いに共感し、支援をお寄せいただけますようお願い申し上げます。



パートナー会員について

■ 個人・法人パートナーシップメニュー

1. 想いコース

応援したい気持ちの表現



年間1万2千円
(1ヶ月1千円)

・ロゴの提供【イメージ】



学童ホテル
GAKUDO HOTEL

かけはしパートナー
2025

2. タネまきコース

種をまくように、
未来への小さな支援を始めるコース。



年間6万円
(1ヶ月5千円)

- ・HPへ社名・ロゴ掲載
- ・ロゴの提供
- ・当法人のHPやSNS等で、パートナー企業の紹介。

3. めばえコース

芽がふくらみ、育ち始めた段階。
活動への継続的な関与を示す。



年間12万円
(1ヶ月1万円)

- ・タネまきコース+
- ・子供たちの交流や情報発信の場として活用
- ・学童ホテルの見学やお手伝いも自由に参加可能

4. 花さくコース

花を咲かせ、実を結ぶように、
子どもたちの成長を強力に支える存在。



年間30万円以上

タネまきコース+

- ・年に1回パートナー企業向け学童ホテルを開催！パートナー企業で働く社員のお子様向けに無料で体験型イベントをカスタマイズで実施します。
- ・パートナー企業のセミナーや社内研修などでSETREをご利用の際は、会場費無料で提供！
- ・パートナー企業の職業体験を実施できます。子供たちが企業で働く様子を直接体験することで、将来のキャリア選択を意識する機会を提供し、企業への理解を深めることで、将来の採用につながる可能性を高めることができます。

Press Release
2025.8 | 9/9

メディア向け見学会のご案内

2025年8月25日（月）・26日（火）に学童ホテル「説明会＆プレ体験会」に伴い、本活動の体験見学会をメディア向けに開催いたします。当日は施設内の自由内覧を予定しております。ご多忙のこととは存じますが、この機会にご来館賜りますよう、心よりお待ち申し上げます。

詳細

- 日時 8月25日(月)1部：13時～15時 須磨海苔ができるまでと海苔炙り体験
講師:すまうら水産 実熊 良太氏
- 8月26日(火)1部：11時～13時 声を出さないコミュニケーション体験
講師：尾中 幸恵氏、尾中 友哉氏
- 8月26日(火)2部：14時～16時 生音でダンス 講師：MIWA & CANA
*1部：2時間程度

■場所 ホテル セトレ神戸・舞子内 「別邸レジデンス」

■内容 見学会、デザート試食、個別取材、学童ホテルの概要説明

■申込方法

お申し込みは上記QRコードよりお願い致します。

できる限り公共交通機関をご利用くださいませ。駐車場には限りがございますので、駐車場をご利用の方は、必ずその旨もご記載ください。

■締め切り 2025年8月20日（水）18：00まで



△お申し込みはこちらから

会社概要

一般社団法人ホロニック

- 役員 代表理事：長田 一郎（株式会社ホロニック 代表取締役）
- 理 事：江畑 昭彦（株式会社ホロニック／ホテルセトレ在籍）
- 理 事：金井 智美（労働者協同組合こども編集部 代表理事）
- 理 事：中尾 有里（ほしのあいま共同 代表）
- 監 事：藪内 順子（株式会社ホロニック 取締役）
- 設立年月 2025年7月24日
- 所在地 （本部）神戸市東灘区向洋町中6-9 神戸ファッションマート10階
（支部）神戸市垂水区海岸通11-1 ホテルセトレ内 別邸レジデンス
- 事業内容 学童ホテルの運営
- URL <https://www.gakudohotel.or.jp/>



本リリースに関するお問い合わせ ▶ 取材依頼、画像貸し出し、ご不明点などございましたらお気軽にお問い合わせくださいませ。

広報 担当：非営利型一般社団法人ホロニック

船木 久美子（フナギ クミコ）

E-mail：funagi@hol-onic.co.jp

TEL：078-858-6908 / 携帯 080-4071-6661

FAX：078-858-6909